



## P+ARCHIVEとは

『P+ARCHIVE(ピープラス・アーカイブ)』は、2010年より特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センターが東京文化発信プロジェクト室(現アーツカウンシル東京)との共催事業として活動を開始し、国内外におけるアート・プロジェクトやパブリックアートに関する書籍・カタログ・資料などを収集・整理・公開しています。

『P+ARCHIVE』のミッションは、プロジェクト型のアート活動を効率よく記録・保存し、資料を公開・活用するスキルを提供し、課題を共有していく学ぶ場としてのプラットフォームを構築することです。そのために資料収集のほかに、レクチャー・シリーズや実際のアーカイブ構築、関連の出版および各組織のネットワーク構築などの活動をおこなっています。

この活動を通じて、「地域・社会と関わるアート活動」を実践する人びとやその記録がネットワーク化され、未来への文化資源として人びとに共有されることを支援していきます。

\*『P+ARCHIVE』の「P」には3つの意味:〈Public〉、〈Process〉、〈People〉がこめられています。

## P+ARCHIVEセンターの利用について

[開館日] 木曜、金曜

[開館時間] 13:00~18:00

[休館日] 年末年始、祝日(臨時休館する場合があります)

[施設の利用方法]

- 収蔵資料はどなたでも自由に閲覧できます。
- 書籍・資料コピーの際には、お申し出ください(白黒:10円、カラー:40円)。
- 詳細内容はアーカイブ・スタッフがご案内します。お気軽にお声がけください。

[注意事項]

- 閲覧は静かにおこなってください。
- 飲食等のご遠慮ください。
- 許可なく資料を写真撮影することは禁止します。

## 問い合わせ

info@art-society.com 資料をご寄贈いただける方はこちらまで是非ご一報ください。

## アクセス

3331 Arts Chiyoda 3F アーツカウンシル東京ROOM302

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14



東京メトロ銀座線末広町駅4番出口より徒歩1分/東京メトロ千代田線湯島駅6番出口より徒歩3分

都営大江戸線上野御徒町駅A1番出口より徒歩6分/ JR御徒町駅南口より徒歩7分

JR秋葉原駅電気街口より徒歩8分

## スリーピー

『P+ARCHIVE』  
を案内する  
アーキビストの  
スリーピーくん。



## lilipeer(リリピア)

表紙をスマートフォンアプリ「リリピア」で  
撮影するとコンテンツが表示されます。  
「リリピア」についてはウェブサイトをご覧  
ください。http://lilipeer.com



主催 | アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

企画運営 | 特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター

Tokyo Art Research Lab(TARL)とは

アートプロジェクトを実践する全ての人々に開かれ、共につくりあげるリサーチ/人材育成プログラムです。現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行うことによって、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指しています。www.tarl.jp

特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター

都市や地域における芸術文化活動並びにパブリックアートの情報発信及び調査研究・実施活動に関する事業を行い、都市や地域の文化的発展と市民の文化環境の向上に寄与することを目的として活動する非営利芸術団体。  
www.art-society.com

## 1 アーカイブ資料の収集・整理・公開

### 資料検索サイト

国内外の「地域・社会と関わるアート活動」に関するプロジェクトの資料、書籍、参考文献、関連リンクをデータベース化し公開しています。

### 所蔵資料

#### ▶ [アート・プロジェクト資料]

国内の「地域・社会と関わるアート活動」に関する資料(寄贈資料を都道府県別に公開)

#### ▶ [書籍]

アート、アート・プロジェクト、パブリックアート及び周辺分野(都市、建築、デザイン、ランドスケープ、環境など)の書籍、最新の海外書籍、雑誌(テーマ別に公開)

#### ▶ [アーカイブ資料]

P+ARCHIVEセンターでアーカイブ化した資料、寄贈資料などの貴重な資料

●パブリックアート研究所資料 ●Morphe'95-2000資料

#### ▶ [参考文献]

「地域・社会と関わるアート活動」の関連論文(コピー)

### 収集資料のガイドライン

P+ARCHIVEセンターで収集する資料のガイドラインです。寄贈いただく際にご参照ください。

- 国内・国外とも1980年代以降のプロジェクトを中心に収集する。
- アート表現に関わる建築、ランドスケープ、プロダクトデザインなどの分野を含める。
- 音楽、ダンス、演劇などの分野は基本的に対象とせず、美術分野を中心とする。
- 個人作家の資料は基本的に収集対象に含めない。
- 可能な限り貴重性の高い資料を収集する。
- 公的機関、民間芸術団体、企業、個人からの寄贈を募る。



P+ARCHIVEセンター



## 2 レクチャー/イベント

アーカイブの社会的意義や課題、基礎的なスキルなどを共有するレクチャーやイベントを開催しています。

- ▶ 2010年度 連続レクチャー「アート活動としてのアーカイブ」  
社会と関わりをもつアート活動をアーカイブ化する手法についての連続レクチャー
- ▶ 2011年度 レクチャー&ワークショップ「実践 アート・アーカイビング」  
アート・アーカイブについてのレクチャーと、文書管理の基礎を学ぶ連続ワークショップ
- ▶ 2012年度 レクチャー&ワークショップ「リアルARTプロジェクト・アーカイビング実践 — Case Study 日比野克彦『種は船』プロジェクト —」  
日比野克彦氏の『種は船』プロジェクトをケーススタディとした、より実践的な連続講座
- ▶ 2013年度 「アート・アーカイブズ・キットラボ」「アーキスト・ネットワーキングカフェ」  
アーカイブの実践的なノウハウを考えるラボと、アート団体の対話の場となるカフェを開催



2010年度のレクチャーで話す川俣正氏



2012年度の日比野克彦氏によるワークショップ

## 3 アーカイブ構築のリサーチと実践

進行形のアート・プロジェクトをアーカイブするノウハウを様々な専門家と共にリサーチし、プロジェクトのアーカイブ構築を実践します。

- ▶ 2010年度 アート・アーカイブ・ガイドブック β版  
進行形のアート・プロジェクトをアーカイブするためのガイド。2013年度にβ版+として増補版を発行
- ▶ 2011年度 「現代アートの記録と記憶」プロジェクト Morphe'95-2000  
東京・青山エリアで開催されたアート・プロジェクト『Morphe(モルフェ)』のアーカイビング
- ▶ 2012年度 『種は船 in 舞鶴』アーカイブ・プロジェクト  
舞鶴から新潟まで航海する『種は船』プロジェクトを走りながら残すアーカイビング
- ▶ 2013年度 アート・アーカイブ・キット  
記録・保管のプロセスや整理のスキルをシンプルにまとめた、キットの開発とウェブページの公開



2011年12月に開催されたモルフェ資料の展示



2012年度にアーカイブに取り組んだ『種は船』資料

## 4 ネットワーキング

アート・アーカイブに取り組む団体同士でのネットワーク構築を目指し、シンポジウムなどの開催を通じて対話の場をつくります。

- ▶ 2012年度 国際シンポジウム  
「地域・社会と関わる芸術文化活動のアーカイブに関するグローバル・ネットワーキング・フォーラム」  
ドイツ、韓国、アメリカ、日本のアート・アーカイブの専門家が集う国際シンポジウムを開催
- ▶ インタビュー・プロジェクト  
全国のアート団体に資料の保存状況や、アーカイブに対する考えを伺うインタビューシリーズ



2012年度に開催された国際シンポジウムの様子



アーカイブインタビューで語る山出淳也氏

## 5 発行物

P+ARCHIVEの活動で得たアーカイブに取り組むための知識と経験を伝えるために、活動記録をまとめた冊子を作成しています。



2013年度  
アート・アーカイブ・ガイドブックβ版+

2013年度  
アート・アーカイブ・キット

2012年度  
『種は船 in 舞鶴』アーカイブ  
プロジェクト 活動の記録2012

発行物は、ご興味のある方を対象に一部配布が可能なものがありますので、ご希望される方はお問い合わせください。